

平成29年度 学校評価結果報告書

学校法人 日高学園
聖ヶ岡幼稚園

当園ではこの度、平成29年度の学校評価として、教職員自己評価及び、関係者評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、評価結果について話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。

この評価の結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

<目指す子ども達の姿>

明るく素直で思いやりがあり自主性のある子

目指す子ども達の姿のために、日常の保育活動やカリキュラムの編成において、次の3点を常に意識して取り組みます。

- ①感謝の気持ちで心から挨拶ができること
- ②協調性を基本にした自己主張ができること
- ③我慢ができ、やり遂げる力をつけること

あいさつなど基本的な生活習慣を幼児期のうちにしっかり身につけておくことは、これからの子ども達の成長の上で大きな糧となります。時には厳しく叱り、時には論し、強く抱きしめる。私たち教職員は、本当の親子のような情緒的な信頼関係を築けるように努めます。

II. 今年度の重点目標

- 教育課程・指導計画の充実及び周知
- 公開保育研修の実施・充実
- 教職員の資質向上
- 全体会議の活性化
- 保護者との連携の充実
- 未就園児保護者との連携の充実
- 安全管理体制の強化

III. 取組み状況と今後の課題

自己評価項目		取組み状況	
1	教育課程・指導計画の充実及び周知	A	職員と園とのコミュニケーションを円滑に行い、職員が働きやすい環境を整え人間関係を築いていく。 教職員間でコミュニケーションがとれ、気持ちや仕事について互いにアドバイスや補助ができています。問題等があった際は、園長はじめ職員で速やかに話し合いを持ち対応できている。今年度は園長及び主任が保育に関わる時間を多くとったことで、教職員との共通話題が増えた。その結果、職員の考えや思いを知ることができ、良い方法を一緒に選択しながら一体となって運営できた実感することが多かった。ただ、学年が異なると関わる機会が減ってしまうので機会を見つけて取り組み、教職員が相互にコミュニケーションをとろうとする意識が芽生えてくるとさらに良い。また新人歓迎会を催すなど、先輩後輩といった立場はあるが、親睦交流が図れており良い雰囲気がある。新入、中堅、それぞれが人間関係を大切にして、皆で助け合い思い切り楽しむ職場環境を整えていきたい。
2	公開保育研修の実施・充実	B	他のクラスの指導内容や園児の反応を見て学ぶ中で、学年主任の指導方法から良い影響を受けられている。経験の浅い職員は先輩の姿を見て色々な指導方法を知り、アドバイスをもらい気付かなかった課題や接し方を学ぶことができた。その結果、先輩の保育を見て表現力や考え方が豊かになり、幅を広げて成長を感じられている。周りの職員も自らと比較し足りない点に気づいて振り返りを行い、スキルアップにつながった。毎日の振り返りで課題について考えながら取組み、質の向上の意識が根付き、実践を繰り返して後輩にも伝えていきたい。一人ひとりしっかりと意見交換を行うことで様々な観点から捉え、指摘のあった改善点を見直して良かった点は自信につながっているが、ただ形式を真似るだけでなく、気づきの中からその指導の良さや意図を汲み取り応用していきたい。

平成29年度 学校評価結果報告書

学校法人 日高学園
聖ヶ岡幼稚園

自己評価項目		取り組み状況
3	教職員の資質向上	子どもたち一人ひとりの成長に合った伝え方で、目的達成に向けた丁寧な指導を行う。 B
4	全体会議の活性化	教職員それぞれが独自の考えを持ち、教職員間でお互いが分かりやすく意見を伝えあう。 A
5	安全管理体制の強化	命に関わる事という意識を全職員が持ち、避難経路や役割を再度職員間で確認して共有する。 C

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

IV. 次年度の取り組むべき課題

1	教育課程・指導計画の充実及び周知	教職員自身での決断力や判断力が養われるよう配慮を行い、それぞれが相互にコミュニケーションをとろうとする意識を持ちながら取り組む。
2	公開保育の継続実施	指導内容の目的やねらいを見失うことなく、日常保育の実践を通じて課題の設定と改善点の見直しを行う。
3	教職員の資質向上	子どもたちが自身で考えて行動に移せるような保育内容へと、工夫を交えて実践していく。
4	全体会議の活性化	発言者が偏らぬよう意見交換しやすい雰囲気づくりを継続し、様々な意見に触れ見識を深める機会として捉えていく。
5	安全管理体制の強化	訓練のねらいや重要性について粘り強く丁寧に伝えていくとともに、分かりやすさを心掛けた指示を行う。

V. 学校関係者の評価

教職員間でよくコミュニケーションがとられていること、また園長、副園長、主任はじめ何か問題があっただけからではなく、日頃から相互にコミュニケーションを深めて、保育に関わる時間を多くとられたこと、ミーティング、交流会等を充実させ諸先生達と共に精進されていることは大いに評価に値すると思います。

教育目標にある理念を常に心にとめて精進され、子どもたちの健康、安全、教育の充実を第一に考え、教職員間の信頼を深めながら、さらに保育活動に取り組んでいかれますことを望みます。

<評議員>

評価結果から適切に評価を実施されていることが伺えました。安全管理体制の強化については、取組状況に記載のあった通り、日頃から避難訓練の大切さを子どもたちに分かりやすく伝えていただき、命の大切さも合わせて教えていただきたいと思います。親として自分の子供を初めて他者に託すことは色々な面で不安がたくさんありますが、担任以外の先生方にも子どものことを知っていただける環境があり、保護者としても安心してお任せすることができます。この先もずっと、昔から変わることのない温かい園であり続けて欲しいです。

<保護者>

先生方は日頃より担任以外の子どもたちのこともよく見てくださっており、安心して子どもを預けられます。子どもたちのために様々な取組みをされており、自己評価も適切に行われていると思います。大阪府北部地震もあったことから、安全管理体制の強化については、大人でも一瞬固まってしまうような事態においてもすぐにテーブルの下に入り身を守るなど、日頃の訓練の成果を感じることができました。避難訓練実施の際に慣れが生じてしまうことは、極力防いでいかねばなりません、子ども達には防災意識が身につけてきていると思います。

<保護者>

以上